

問1 豊臣秀吉が全国規模で実施した土地調査では、ものさしや枡（ます）を統一し、田畑の面積や収穫量を石高（こくだか）で表しました。この調査結果を村ごとにまとめ、実際に耕作している農民の名前を登録することで、年貢を納める責任者を確定させた台帳を何とといいますか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 検地帳 2. 土地台帳 3. 浮世絵草子 4. 分限帳

問2 日本の室町時代末期に、鉄砲の伝来やキリスト教の伝来といった出来事が相次いだ背景には、当時のヨーロッパにおける社会の動きが深く関わっています。キリスト教がこの時期に日本へ伝えられた直接的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 富山公立入試 類似）

1. ヨーロッパでの宗教改革に対抗し、カトリック教会が海外での布教を強化したため
2. 産業革命の進展により、キリスト教の経典を大量印刷して海外へ配る必要があったため
3. ピューリタン革命の影響で信仰の自由が失われ、多くのキリスト教徒が日本へ逃れたため
4. ルネサンスによってキリスト教以外の思想が禁じられ、全ての宣教師がアジアへ派遣されたため

問3 豊臣秀吉が実施した「太閤検地」によって確立された、土地の生産力を米の収穫量で換算して表す仕組みを何とといいますか。（2026年 沖縄公立入試 類似）

1. 貫高制 2. 石高制 3. 地租改正 4. 班田収授法

問4 明智光秀ゆかりの地である福知山市の資料などでは、光秀亡き後に天下を統一した豊臣秀吉の政策が紹介されることがあります。秀吉が、それまで曖昧だった武士と百姓の身分を明確に分けるために実施した、代表的な2つの政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 京都公立入試 類似）

1. 太閤検地と刀狩 2. 惣無事令と御成敗式目 3. 検地帳の作成と浮世絵の奨励 4. 身分統制令と参勤交代

問5 15世紀末の大航海時代にインド航路を開拓したバスコ・ダ・ガマの活動よりも、時間軸において「前に起きた出来事」と「後に起きた出来事」の組み合わせとして適切なものはどれか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣
2. 前に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣 / 後に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣
3. 前に起きたこと：ルターによる宗教改革の開始 / 後に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣
4. 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：マルコ・ポーロによる東方見聞録の執筆

問6 ドイツで始まったルターによる改革運動がスイスなどの周辺地域にも波及し、従来のローマ教皇の権威を認めるカトリックとは一線を画すようになった新しい勢力は何と呼ばれるか。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. プロテスタント 2. ルネサンス 3. 十字軍 4. イエズス会

問7 14世紀から16世紀のヨーロッパを分析した資料において、イスラム文化や古典古代の文化への関心が高まった背景にある歴史的な出来事と、その後の変化について述べた記述として正しいものを選んでください。（2024年 三重公立入試 類似）

1. 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。
2. 宗教改革の影響でカトリック教会の権威が失墜したことにより、ヨーロッパの知識人がイスラム圏へ移住した。
3. モンゴル帝国の拡大によって東方の火薬や羅針盤が伝わり、騎士階級が没落して教会が文化を独占した。
4. ペストの流行によって人口が減少したため、キリスト教の信仰が強まり、古代ギリシャの科学は否定された。

問8 安土桃山時代の文化について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。千利休が作ったとされる茶室「待庵（たいあん）」の構造などの特徴も踏まえて答えなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）

1. 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。
2. 貴族の生活が中心となり、遣唐使の廃止に伴って日本独自の好みを反映した繊細な文化が栄えた。
3. 鎌倉時代に広まった仏教の影響を受け、素朴で力強い武士の精神を反映した文化が主流となった。
4. 江戸時代の町人たちの経済力を背景に、浮世絵や人形浄瑠璃などの華やかで親しみやすい文化が発達した。

問9 16世紀に南北アメリカ大陸の広大な地域を征服・植民地化し、現地で大規模な銀山を開発して、その銀をヨーロッパやアジアの各地へ運び込むことで世界的な経済の結びつきを強めた国を、次のうちから選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. スペイン 2. ポルトガル 3. イギリス 4. オランダ

答え合わせ・解説

問1	答え 1 検地帳	秀吉は「一地一作人」の原則に基づき、一つの土地に対して一人の耕作者を特定しました。これにより、中世まで続いていた複雑な荘園領主の権利が否定され、農民が直接、国に対して年貢を納める義務を負う仕組みが整いました。このとき作成された記録が検地帳であり、近世の幕藩体制を支える経済的基盤となりました。
問2	答え 1 ヨーロッパでの宗教改革に対抗し、カトリック教会が海外での布教を強化したため	当時のヨーロッパでは、ルターやカルヴァンらによる宗教改革によってカトリック教会の権威が揺らいでいました。危機感を抱いたカトリック教会側は、勢力を回復させるために海外への伝道活動を活性化させました。この「対抗宗教改革」の動きの中で結成されたイエズス会などの宣教師が、大航海時代の航路を利用して日本を含むアジア各地へキリスト教を広めに来たという因果関係があります。
問3	答え 2 石高制	太閤検地では、全国で統一された「ものさし」や「升」を使用し、土地の面積や等級に基づいて予想される収穫量を「石高（こくだか）」として登録しました。これにより、農民に課す年貢の量や、大名に課す軍役（軍事的な負担）の基準が明確になり、近世的な支配体制が整いました。
問4	答え 1 太閤検地と刀狩	秀吉は、全国規模で土地の生産力を石高（米の量）で表す太閤検地を実施し、農民を土地台帳に登録しました。さらに、刀狩令を出して農民から日本刀や脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収しました。この2つの政策がセットで行われたことにより、農民は農業に専念せざるを得なくなり、武士と百姓の区別が確立されました。
問5	答え 1 前に起きたこと：聖地エルサレム奪還を目指す十字軍の派遣 / 後に起きたこと：日本の少年使節である天正遣欧少年使節の派遣	バスコ・ダ・ガマがインドに到達したのは1498年である。それより前の11世紀末から始まったのが中世の十字軍の派遣であり、それより後の1582年に日本の九州の大名らによって派遣されたのが天正遣欧少年使節である。マルコ・ポーロの活動は13世紀であり、ガマより前であるため誤りとなる。
問6	答え 1 プロテスタント	ルターの教えが印刷術によって急速にヨーロッパ各地へ広がると、スイスのカルバンなどによる改革も加わり、カトリック教会に反旗を翻した人々は「抗議する者」を意味するプロテスタントと呼ばれるようになりました。これにより、キリスト教は旧教（カトリック）と新教（プロテスタント）に分かれることになりました。
問7	答え 1 十字軍の遠征などを通じて高度なイスラム文化や古典古代の知識が流入し、人間中心の新しい文化が生まれた。	十字軍の遠征や東方貿易の活性化により、ビザンツ帝国やイスラム世界に保存されていた古代ギリシャ・ローマの文献や科学知識がヨーロッパへ逆輸入されました。これが刺激となり、神の教えに従うことを最優先した中世の価値観から脱却するルネサンスの動きが加速しました。
問8	答え 1 大名や豪商の富を背景に、豪華な城郭が築かれる一方で、質素な「わび茶」の精神を反映した茶室もつくられた。	桃山文化は、権力を象徴する豪華な城郭建築（姫路城や大阪城など）と、内面的な精神性を重んじる「わび茶」という、対照的な二つの面を併せ持っているのが大きな特徴です。千利休が設計した「待庵」はわずかに畳の広さしかなく、余計な装飾を削ぎ落とした極めて簡素な空間となっており、当時の武士たちの精神的な支えとなりました。
問9	答え 1 スペイン	16世紀の大航海時代において、コロンブスの到達以降にアメリカ大陸の広範囲を支配したのはスペインです。スペインはポトシ銀山などを開発して大量の銀を産出し、これをヨーロッパへ持ち帰って「価格革命」と呼ばれる物価上昇を引き起こしたほか、アジア方面へも運んで香辛料や絹などの購入に使用しました。この動きは、現代に続くグローバルな交易網の先駆けとなりました。